

No.211



HPは
こちら

坂東地域アグリ通信

令和5年5月26日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

坂東市4Hクラブが食育活動を行いました

坂東市4Hクラブは、食育活動の一環として、毎年さしま保育園の園児を対象にトウモロコシの栽培体験を行っています。

本年度は、4月17日にさしま保育園の園児20名とトウモロコシの種まきを行いました。

はじめに、イラストを見せながら作業の手順を説明し、その後、園児たちに種を配って作業を体験してもらいました。



園児たちは夢中になって種まきをしている様子で、作業が終わった後も、「収穫が楽しみ!」「早く食べたい!」と、楽しそうな声が多く聞かれました。

今後、園児たちは保育園の向かいにある畑でトウモロコシが育つ様子を見届けながら、7月中旬に収穫体験を行う予定です。

普及センターでは、今後も後継者クラブの活動支援と食育活動を通じて、農業の魅力を発信していきます。

タマネギ現地検討会が開催されました

4月20日、JA茨城むつみ玉葱研究会の現地検討会が開催され、生産者や関係機関計10名が参加しました。

検討会は1月から毎月1回、坂東市と境町の2ほ場で実施しています。今回の検討会では、全農いばらきおよび普及センターから、3月以降に発生が増えているべと病、アザミウマ類、雑草の防除を徹底するよう、注意喚起を行いました。



加工業務用タマネギの契約栽培は、今作で6作目となります。年々生産者の栽培技術は向上しており、今作も現時点まで順調な生育状況となっています。早生品種の収穫は5月中旬から始まる見込みです。

今作も無事に収穫時期を迎えられるよう、普及センターは引き続き関係機関と連携しながら支援していきます。

令和5年度「さしま茶ふれあい学習」を支援しました

5月10日、農業大学校の園芸部において、茨城県茶生産者組合連合会坂東支部主催による、お茶の勉強会「さしま茶ふれあい学習」が開催されました。本会は小学生が茶摘みなどの体験を通して地域の特産品である「さしま茶」を知り、親しんでもらいたいという思いで毎年開催されていたものですが、新型コロナウイルスの影響もあり令和元年度以来4年ぶりの開催となりました。今年は、坂東市内13校の小学4年生、403名が「さしま茶」について、歴史の勉強やお茶摘み体験、製造工程見学、お茶の試飲を通して学習しました。

普及センターは農業大学校園芸部、坂東市役所と協力し、様々なお茶の特徴や「さしま茶」について、紙芝居形式で説明しました。

茶生産者組合の方々によると、3月、4月は天候に恵まれていたためとても質の良いお茶ができていたとのことでした。

また、参加した小学生からは、「苦いが香りがよく美味しかった。」との声があり、お茶の試飲ではおかわりをして、美味しそうにお茶を飲んでいました。



タマネギ軟腐病に注意しましょう

発生要因

細菌が作業や雨風、害虫による食害などでできた傷口から入り込み感染します。高温時に土壌湿度が高いと発病しやすく、長雨や台風による集中豪雨などで畑が湛水や浸水すると多発することがあります。

病気の症状

主に葉や葉柄から侵されることが多く、水浸状の病斑が見られます。次第に淡褐色に腐敗していき、腐敗が進行すると悪臭を放つようになります。

防除方法

1. 多発ほ場では連作を避け、イネ科やマメ科作物で4年程度輪作する。
2. 排水の良くないほ場では高うねにする。
3. 栽培時に、なるべく株に傷をつけないように注意する。



発病株の様子

写真提供：埼玉の農作物病害虫写真集

6月 土壌診断実施日のお知らせ

6月7日（水）、21日（水）の2回の予定です

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- **1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

坂東普及センターに来てから1か月が経ちました。徐々に新たな生活にも慣れてきましたが、まだまだ不安もたくさんあります。体調管理を怠らずにこれからも頑張っていきたいと思えます。（バティン）